



第 37 回水素エネルギー協会大会

第 37 回水素エネルギー協会大会 実行委員長
福岡大学 教授 久保田 純

将来のエネルギー社会において、水素エネルギーを中心としたエネルギーシステムが有望であり、その研究開発に関わる研究者の技術の交流のために水素エネルギー協会が 1973 年に設立されて以来、世界のエネルギー情勢は目まぐるしく変化を遂げています。本協会が設立された時代はオイルショックの最中の経済混乱から、代替エネルギーの重要性が求められていました。現在では、東日本大震災による我が国のエネルギー不安、シェールガスなど採掘の進歩によるエネルギー資源の出現、そして昨今の世界原油安、米国のトランプ政権の樹立と気候変動枠組であるパリ協定の不透明さ、とエネルギー情勢は刻々と変化を続けています。しかしながら、どのような情勢の下でも化石燃料に依存しない社会を構築することは人類の目標でもあり、その技術を確立することは必須なことでもあります。

水素を中心とし、水素から転換される様々なエネルギーキャリア物質の製造から利用、貯蔵、貯蔵、安全、社会受容性、法規制などについて、様々な専門分野の研究者らの研究討論の場として、水素エネルギー協会大会では、特別講演、一般講演、ポスター発表などを行い多くの研究者の交流を促してきました。

本年の第 37 回水素エネルギー協会大会におきましても、産官学の水素エネルギーに関する研究者の方々の研究発表、そしてこのような研究に興味をお持ちの方々の多くの御参加をお待ちいたします。本会会員をはじめ、協賛学会の会員、およびそれ以外の方も含めた多くの方々の研究発表とご参加を歓迎します。

■会 期： 2017 年 12 月 4 日（月）、5 日（火）

■会 場： タワーホール船堀 小ホール（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

■主 催： 一般社団法人 水素エネルギー協会（HESS：Hydrogen Energy Systems Society of Japan）

協 賛（予定）： （一社）エネルギー・資源学会、（公社）化学工学会、（公社）自動車技術会、（公社）電気化学会、（一社）日本エネルギー学会、（公社）日本化学会、（一社）日本機械学会、（公社）日本生物工学会、（公社）石油学会、（一社）触媒学会、（一社）燃料電池開発情報センター

■内 容： 特別講演、研究論文発表（口頭発表、ポスター発表）、懇親会（初日プログラム終了後）

特別講演；川崎重工業株式会社 堀川敦史氏、京都大学 江口浩一氏、千代田化工建設（株）岡田佳巳氏

※プログラムは、決定後ホームページに掲載（10 月上旬頃）。

■参加費：（発表者、聴講者共通）

	HESS 会員/ 協賛会員	HESS 会員/ 協賛会員（学生）	非会員	非会員学生
参加登録費（事前申込）	8,000	2,000	15,000	3,000
参加登録費（×切後申込、当日参加）	10,000	3,000	17,000	4,000
懇親会費（事前申込）	5,000	1,000	5,000	1,000
懇親会費（×切後申込、当日参加）	7,000	2,000	7,000	2,000

（ご参考：HESS 会員年会費：法人会員 80,000 円/口、個人会員 8,000 円、学生会員 3,000 円）

※HESS は消費税法における免税事業者のため参加費（参加登録費・懇親会費）には消費税及び地方消費税を課税いたしません。

■参加登録（聴講）方法： ホームページに掲載。事前登録締切 11 月 15 日（水）

■申込先（連絡先）： 一般社団法人水素エネルギー協会 事務局（担当：米富） E-mail: 37hess@hess.jp

発表論文募集

応募要領は、ホームページに掲載します。学生優秀発表賞（口頭、ポスター各 2 件程度）を表彰。

【論文発表分野】水素政策、水素エネルギー（全般）、水素の物性、水素製造、水素の利用、水素の安全性と対策、水素エネルギーシステム、貯蔵と輸送、燃料電池、その他

【発表申込締切】9 月 6 日（水） 【予稿原稿提出締切】9 月 27 日（水）